

平成29年度 一般会計・特別会計・事業会計 決算認定



代表監査委員による決算審査報告の様子

第3回9月定例会

会期 9月4日～11日

本議会では、平成29年度一般会計等の決算認定をはじめ、条例の一部改正、補正予算、人事案件など町長提出議案17件、請願4件、議員発議1件等が上程されました。慎重審議のうえ、請願1件を不採択、請願3件を継続審査、それ以外のすべての議案を可決しました。

また、町政に対する一般質問では、6人の議員が登壇し、町政発展に向けての活発な議論がなされました。(一般質問は、7頁～9頁に掲載しています。)

一般会計・特別会計決算

一般会計の歳入では、前年度に比べ町税や地方消費税交付金等が増額したものの、地方交付税交付金の町村合併に対する加算分の漸減等により、対前年度比1億5797万3000円減の71億7546万4000円になりました。歳出では、人件費の増額等により義務的経費は増額となりましたが、昨年度見られた大きな建設工事が無くなったことにより投資的経費は減額となり、対前年度比4834万5000円減の67億5995万7000円になりました。この結果、翌年度に繰り越すべき財源204万4000円を差し引いた4億1346万3000円の黒字決算となりました。

また、特別会計はすべての会計でそれぞれ黒字決算となりました。

事業会計決算

病院事業

医業収益では、入院患者数、外来患者数も診療所を含めてそれぞれ減

少し、収益も減額となりました。医業費用は減価償却費や材料費が減額となりましたが、経費や給与費が増額となりました。医業外収益及び医業外費用を含めた収支を比較すると、病院事業収益、病院事業費用それぞれ減少し、1億14万4222円の赤字決算になりました。

国民宿舎事業

宿泊利用者は対前年度比21.1%、休憩利用者は対前年度比1.8%とそれぞれ増加し、営業収益は増加しましたが、利用者数に比例し光熱水費や燃料費などの営業費用も増加しました。昨年度に引き続き赤字幅は減少しましたが、1700万1881円の赤字決算となりました。

決算審査報告

各会計とも決算書及び付属書類は関係法令に基づいて作成されており、財務処理も適正になされ、決算は正当であるとの報告がありました。

平成29年度一般会計決算

● 主な質疑

Q 埼玉県町村情報システム共同化事業の効果は。

A 県内20の町村で共同して、主に基幹系と言われる住基や税、福祉のシステムを共同で運営しています。システム改修費等の経費を安くする効果があります。

Q 町内24力所ある児童遊園地はどこにあるかわかりづらいのは。児童遊園地の案内表示や遊具等の安全確保にもっと力を入れるべきだと思うが。

A 地図などを作成し子育て世代に情報提供するなど、来年度に向けて研究していきます。

Q 新規就農者育成事業費、青年就農給付金事業費により実際に就農した方、農業施設をつくった方はどのくらいいるか。

A 平成29年度は、新規就農者の規模拡大で6人の方のハウスの資材等に補助をしています。青年就農給付金事業は2人の方が給付金を受けています。

平成29年度事業会計決算

病院事業

● 主な質疑

Q 赤字決算になったが、今後どのような努力をしていくか。

A 秩父郡市内、郡市外の医療機関と連携を図りながら、二次救急に行かれた患者さんの後方支援という形で、リハビリ等が必要な方の受け入れ等を積極的に進めてまいります。

一般会計決算、各特別会計決算及び各事業会計決算は、全会一致で、それぞれ原案のとおり認定しました。

条例改正

・小鹿野町税条例等の一部を改正する条例

町民税が非課税になる合計所得の見直し、法人の法人町民税に係る電子申告の義務化や加熱式たばこの課税方式の見直しなど、地方税法等の一部改正に伴い、条例の改正が必要となるものです。

・小鹿野町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例

障害があることが理由で経済的に困難な方を支援する重度心身障害者医療費支給制度の趣旨を踏まえ、支給対象者を一定の所得以下の者に限定するためのものです。

● 主な質疑

Q 今までは重度心身障害者に対する医療費は無条件に支給されていたものを、所得によって支給される人、されない人に分けるということか。

A ご指摘のとおりです。今までは所得制限が無く、申請があった者に対して支給していました。

【討 論】

【原案に反対】

7番 出浦 正夫

所得に関わらず、重度の障害を持たれている方には無条件に支援をするべきだと考えますので反対します。

補正予算

・平成29年度小鹿野町一般会計補正予算(第2号)

港区との連携事業に伴う県支出金の追加、健康増進センター等の改修工事に伴う地方債の追加や旧バイクの森、観光・農林関係施設の改修及び地域おこし協力隊員募集の経費を追加するなど、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3916万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ72億1116万9000円とするものです。

● 主な質疑

Q バイクの森おがのの改修費が計上してあるが、事業者が決定したのか。

A 事業者の募集が最終的な段階に入ってきています。施設の利用に当たっては法令等に基づいて町で施設改修をしなければならぬ箇所があるので、今回補正予算としてお願いするものです。

(次頁へ続く)